



学術研究奨励賞 26人に授与

令和7年度学術研究奨励賞授与式が3月9日、世田谷キャンパスのメイプルセブンホール第1会議室で執り行われ、田原厚子学長から受賞者26名のうち17名の出席者に表彰状が授与された。

受賞者を代表して、人の教授から、受賞の謝意と自身の専門分野・研究の紹介、今後の研究活動のさらなる躍進に向けての意気込みが述べられた。

田原学長は、各教員の日々の研鑽に敬意を表し、中々で大学が生き残っていくためには、学部だけでなく大学院博士課程の強化、研究力と魅力の発信をいかに必要とする。今後の決意を示しつつ、教員らを激励した。

学術研究奨励賞は、学術研究活動に優れた功績があった者および外部研究資金の獲得などに寄与した者を表彰するもの。

受賞者は次のとおり（職名は受賞当時のもの）。

倉持長子（同講師）

【学芸賞等】

位田達哉（理工学部准教授）

大柳良介（同講師）

橋本隆雄（同特任教授）

所哲郎（経営学部教授）

生方淳子（政経学部教授）

▲妻川晃夫（文学部教授）

▲松野敏之（同）

【特許】

神野誠（理工学部教授）

【科研費】

羽田克彦（体育学部教授）

▲中島剛（同准教授）

▲菊幸一（同特任教授）

▲船尾和男（同）

▲二井昭佳（理工学部教授）

▲和田匡史（同准教授）

▲三浦正広（法文学部教授）

▲仁藤智子（文学部教授）

▲河野正（21世紀アジア学部助成）

▲外部助成

胡杰（政経学部講師）

▲乾睦子（理工学部教授）

▲大高敏男（同）

▲神津薫（同）

▲神野誠（同）

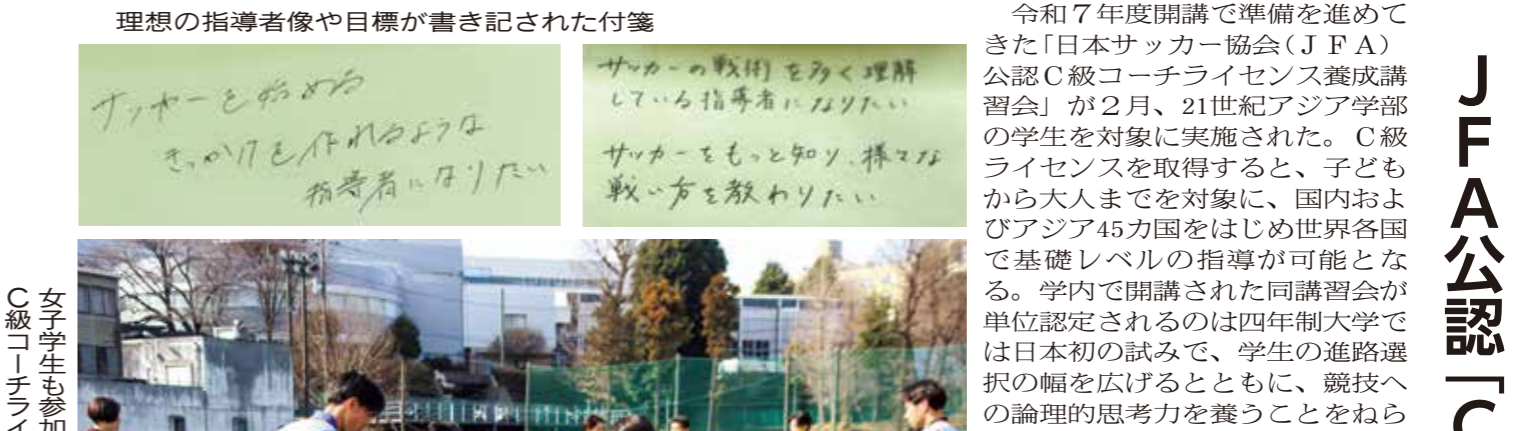
▲地神裕史（同）

▲富樫盛典（同）

▲位田達哉（同准教授）

▲本間貴子（文学部准教授）

▲倉持長子（同講師）



JFA公認「C級コーチライセンス」取得へ 男女24人挑む

講習会は、2月3日から19日にかけて8日間のカリキュラムで実施され、サッカー部（男子・女子）に所属する学生を中心に同学部の学生24人が受講した。

学生らは、本学卒業生指導のもと、サッカーの原理原則や基礎的なスキルに加え、発育発達や安全管理、トレーニングのプログラムデザインなど、講義と実践を交えながら指導者に必要なコーチングスキルを幅広く学んだ。講義中には、付箋を用いて理想の指導者像について共有する場面や、意見交換する場面も多々見られた。主体的に学びを深めた。

受講生は、「コーチングスキルに加え、戦術的な指導的学ぶことができた」と振り返ったほか、「海外研修プログラム（サッカー）を通じて交流を深めた」と受講生は、将来は、C級ライセンスを生かしながら海外でサッカーの普及に携わりたいという思いで、小中学生への指導で実践を積みながらプロ審判員を目指していきたいと、夢を膨らませた。

四年制大学で初 21アジア、単位認定

プロシメテサイエンスが、講義と実践を交えながら指導者に必要なコーチングスキルを幅広く学んだ。講義中には、付箋を用いて理想の指導者像について共有する場面や、意見交換する場面も多々見られた。主体的に学びを深めた。

受講生は、「コーチングスキルに加え、戦術的な指導的学ぶことができた」と振り返ったほか、「海外研修プログラム（サッカー）を通じて交流を深めた」と受講生は、将来は、C級ライセンスを生かしながら海外でサッカーの普及に携わりたいという思いで、小中学生への指導で実践を積みながらプロ審判員を目指していきたいと、夢を膨らませた。

東京マラソン サポート 沿道でコースで救護活動

3月1日に開催された東京マラソン2026で、救急救命士の資格をもつ本学体育学部スポーツ実習生ら234人が、沿道で救護活動を行った。

救急救命士の資格をもつ本学体育学部スポーツ実習生ら234人が、沿道で救護活動を行った。

救急救命士の資格をもつ本学体育学部スポーツ実習生ら234人が、沿道で救護活動を行った。

北沢署員から 改正道交法学ぶ 課外活動クラブ員ら

13日、警視庁北沢署署員を講師に招き、改正道交法を学ぶ課外活動クラブ員らが行った。

13日、警視庁北沢署署員を講師に招き、改正道交法を学ぶ課外活動クラブ員らが行った。

防災士資格202人/ドローン資格72人 取得着実に

防災教育に取り組む本学では、防災士資格やドローンの国家資格取得が、防災に関わる各種資格取得のほか、災害現場で使用される小型無人機ドローンに関する講習の機会を設けており、令和7年度も着実に進められた。

防災教育に取り組む本学では、防災士資格やドローンの国家資格取得が、防災に関わる各種資格取得のほか、災害現場で使用される小型無人機ドローンに関する講習の機会を設けており、令和7年度も着実に進められた。

鶴川寮で初の防災訓練 松陰寮でも避難経路など確認

町田キャンパスの鶴川寮を対象とした防災訓練が3月31日、町田キャンパスで実施し、新入生を含む寮生とクラブ指進行者ら約300人が参加した。

町田キャンパスの鶴川寮を対象とした防災訓練が3月31日、町田キャンパスで実施し、新入生を含む寮生とクラブ指進行者ら約300人が参加した。

競争的研究課題一覧

事業名等	氏名	所属・職名	研究課題等
公益財団法人大林財団「2025年度研究助成」	南 泰裕	理工学部 教授	タイ・クレット島における水系住居と都市域の特性に関する研究
東北大学金属材料研究所「2026年度国際共同利用・共同研究拠点（一般研究）」	神津 薫	理工学部 教授	高温Cu溶融法におけるRu ₂ B ₃ 結晶の合成と物理化学的性質
公益財団法人大林財団「2025年度研究助成」	位田 達哉	理工学部 准教授	地方創生を担うコミュニティ大工の空き家再生現場におけるAI安全管理
公益財団法人ロッテ財団「2026年度奨励研究助成」	長名 シオン	体育学部 講師	アミノ酸による筋細胞プロテオスタシス制御機構の解明と筋萎縮予防への応用



「梅棟(仮称)」今夏着工へ キャンパス整備事業 施工は浅沼組

第3次中長期事業計画の重要項目に位置付けられた「梅棟」の建設は、5月に完了した。本事業は、候補会社3社による入札の結果、浅沼組が施工を担当することになった。

第3次中長期事業計画の重要項目に位置付けられた「梅棟」の建設は、5月に完了した。本事業は、候補会社3社による入札の結果、浅沼組が施工を担当することになった。

模範消火器を使った初期消火訓練に取り組み鶴川寮生ら

鶴川寮生らを対象とした初期消火訓練が3月31日、町田キャンパスで実施し、新入生を含む寮生とクラブ指進行者ら約300人が参加した。

鶴川寮生らを対象とした初期消火訓練が3月31日、町田キャンパスで実施し、新入生を含む寮生とクラブ指進行者ら約300人が参加した。

1917年、「活学」を講ずる教育道場として、吉田松陰の精神を範とした私塾「国士館」が誕生しました。以来、学が者みずからが不断の「読書・体験・反省」と「思索」を実践しつつ、「誠意・勤労・見識・気魄」の涵養を教育理念に掲げ、さまざまな分野で活躍する人材を輩出してきました。創立100周年を迎えた国士館は、これからも世のため、人のために尽くせる人材「国士」の養成を目指してまいります。

マスコミを追う

都筑講師が石川・輪島市の高校生に心肺蘇生法を指導する様子が放送（北放送9月9日）

●あきこ先生の「東京マラソン」巨匠への舞台裏に密着の「コナリ」について、体育学部の安藤翔平が放送（北放送10月17日）

●「SWEBT!!」の「東京マラソン」インタビューについて、体育学部の倉科幸朗が放送（北放送11月4日）

●「SWEBT!!」の「東京マラソン」インタビューについて、体育学部の倉科幸朗が放送（北放送11月4日）

●「SWEBT!!」の「東京マラソン」インタビューについて、体育学部の倉科幸朗が放送（北放送11月4日）

国士館の建学の精神

「物質文明」を統御する「精神教育」を重視し、「心身の修練」と「知徳の精進向上」を目指し、国家社会の将来を思い、世界の平和と国家社会の改革向上に貢献する人材、即ち「国を思い、世のため、人のために尽くせる人材「国士」の養成」を目指す。

国士館の教育理念

「国士」養成のため、四徳目「誠意・勤労・見識・気魄」を兼ね備える教育を行う。

「誠意」とは、真心と慈悲の心で、世のため、人のために尽くすこと

「勤労」とは、向上心を持って、誠実に仕事をすること

「見識」とは、道徳の心をもって、物事を見抜く力をもつこと

「気魄」とは、信念と責任を持って、強い心でやり通す力のこと

国士館の教育指針

四徳目を備えるには、不断の「読書・体験・反省」を実践し「思索」すること。

「読書」とは、善き書物に学び、世の中や自然界の真を理解すること

「体験」とは、智慧を持って善悪を判断し、善なる判断を実行すること

「反省」とは、何事も行なった後、その行為を省みること

「思索」とは、省みられた内容を検討し、次なる目標を立案すること



商業学校校友会総会 (昭和10年)

本学と世田谷区は令和6年2月に包括連携協定を結ぶ、主として教育分野で顕著な連携を深める。本学教員による区立幼稚園の統括的指導・助言、本学学生による区立小学校での日本語支援や協働学習支援など、その内容は多岐にわたる。連携の窓口を担う本学地域連携・社会貢献推進センターの村上純一センター長と本間貴子副センター長、世田谷区立教育総合センターの宇都宮聡一センター長に、これまでの取り組みと連携がもたらした価値、今後の展望について話を聞いた。



国士館史資料室 だより



世田谷区立教育総合センター 宇都宮聡一センター長

本学と世田谷区は令和6年2月に包括連携協定を結ぶ、主として教育分野で顕著な連携を深める。本学教員による区立幼稚園の統括的指導・助言、本学学生による区立小学校での日本語支援や協働学習支援など、その内容は多岐にわたる。連携の窓口を担う本学地域連携・社会貢献推進センターの村上純一センター長と本間貴子副センター長、世田谷区立教育総合センターの宇都宮聡一センター長に、これまでの取り組みと連携がもたらした価値、今後の展望について話を聞いた。

地域教育 本学と区「協働」で深まり



地域教育について話し合う会から本間准教授、村上教授、世田谷区の宇都宮聡一センター長

世田谷区立教育総合センターは、区内における教育活動を包括的に支援するためにの中核組織として令和3年に開設された。宇都宮聡一センター長は、5年に赴任された。当初は「街歩き」や「学び」を通じて、さまざまな活動に取り組むなかで、地域の連携を高め、教育への関心を深める取り組みが徐々に模索していった。

節目を振り返って 商業学校創設100年 国士館創立109年を迎える2026年から本学の沿革を振り返る、さまざまな節目の年にあたり、本学(1916年)6月、大正11年、協同連帯となる国士館商業学校の創設の母体となる青年大

1946(昭和21)年 財団法人国士館を財団法人至徳学園に改称(国士館)へを収める。近年3月に「卒業アルバム」から取り上げ、2023年4月・体育部の前身となる短期大学体育科(3年制)の新設。1966(昭和41)年 1・大正11年(1922)年 協同連帯となる国士館商業学校の創設。その前年に中学校を創設した国士館は、現5・7専攻の創設。1976(昭和51)年 1976(昭和51)年 建物の新築を機に、夜間学塾を開いたこと。4月・本学教養部を廃止して全学教養部を運営センターを開設(現金学共済教育科目)。2016(平成28)年 7月・国士館大学教育記「英語」と「数学」に力を入れ、移りゆく世田谷の表情に込められた。

1946(昭和21)年 財団法人国士館を財団法人至徳学園に改称(国士館)へを収める。近年3月に「卒業アルバム」から取り上げ、2023年4月・体育部の前身となる短期大学体育科(3年制)の新設。1966(昭和41)年 1・大正11年(1922)年 協同連帯となる国士館商業学校の創設。その前年に中学校を創設した国士館は、現5・7専攻の創設。1976(昭和51)年 1976(昭和51)年 建物の新築を機に、夜間学塾を開いたこと。4月・本学教養部を廃止して全学教養部を運営センターを開設(現金学共済教育科目)。2016(平成28)年 7月・国士館大学教育記「英語」と「数学」に力を入れ、移りゆく世田谷の表情に込められた。

街が一つの学校：子どもも育む 宇都宮氏 窓口を一本化、地域ニーズ集約 村上教授 若林サミット転機に学生成長 本間准教授

本学にとって区との協働による恩恵は日に日に増加している。本学の教職課程演習科目に、区内小中学校の20人の先生方が参加し、学生と議論する場を設けました。将来教員を目指す学生にはまたとない経験になりました。現役教師にとっても同様でした。連携強化により充実した実践教育が実現できつつあります。連携の深化は続く。世田谷区はさらなる連携の拡充を模索している。宇都宮 国士館大学との取り組みは、子どもたちを育てるという手懸きを感ずる。区内には17の大学がありますが、国士館のような統合された窓口を持つ大学はまだ少ない。地域にあり、ニーズを活用できる実践の場には、机の上ではなく、現場で実践教育、充実した教育が広がっています。現場で実践教育、充実した教育が広がっています。現場で実践教育、充実した教育が広がっています。

国士館大学地域連携・社会貢献推進センター 村上純一センター長 国士館大学地域連携・社会貢献推進センター 本間貴子副センター長

住民と街の課題解決へ 地域交流ラボ

世田谷区と大学が連携し、「まちづくり」をテーマに、防災などの観点から地域の課題解決を深める。世田谷区立教育総合センターの村上純一センター長と本間貴子副センター長が、地域交流ラボの開催を報告した。

オープンキャンパス盛況 今年初高校生ら1200人來場

令和9年度入学希望者ら約1200人が来場した。当日は来場者の不安や疑問を解消する多彩なプログラムを用意し、総合型選抜説明会では、本学のAO選抜の趣旨や概要を試験に向けて取り組むべきポイントなどを説明し、参加者は熱心に耳を傾けていた。

令和8年度 国士館大学入学選抜結果(確定数) 単位:人

学部	学科等	志願者	受験者	合格者
政経	政治行政	1,505	1,468	301
	経済	3,173	3,043	604
	計	4,678	4,511	905
体育	体育	829	810	327
	武道	174	172	112
	スポーツ医療	877	860	211
理工	子どもスポーツ教育	382	375	124
	計	2,262	2,217	774
	理工	2,139	1,997	797
法	法律	1,251	1,203	400
	現代ビジネス法	776	754	295
	計	2,027	1,957	695
文	教育	984	956	195
	史学地理	1,237	1,209	609
	文	696	671	239
21世紀アジア	計	2,917	2,836	1,043
	21世紀アジア	1,162	1,024	507
	計	1,162	1,024	507
経営	経営	2,609	2,514	658
	計	2,609	2,514	658
	総計	17,794	17,056	5,379

OPEN CAMPUS 2026 イベント情報は随時ホームページで更新中!

世田谷キャンパス 6.7(SUN) 8.1(SAT) 8.2(SUN) 8.29(SAT) 町田キャンパス 7.18(SAT) 8.22(SAT) 6.13(SAT) 7.18(SAT) 8.22(SAT) 多摩キャンパス

暮らしの中で見つけるSDGs 授業

政経学部の石見澤ゼミ、世田谷区立若林小学校と文芸部の本間貴子ゼミの協働によるSDGs授業が1月28日に開催された。SDGsの成果や考えを、大学生や地域の大人と意見交換する機会が設けられた。

10代・70代のチャレンジ 楽しむ柔道

会館の教材を活用し、世界で活躍する柔道選手と交流する。10代と70代のチャレンジ柔道授業が、世田谷区立教育総合センターで開催された。

総志願者数は1万7794人

事前申込制 国士館大学ホームページからお申し込みください

文科省の支援事業に選定 8年連続 本学含む6私学と世田谷区・産業界

1

授業のことでわからないときは

履修科目のことなど、学修に関することは学部窓口にご相談しましょう。最新の情報はmanaba(在学生向け)にアップされるため、定期的に確認しましょう。



2

修学上の配慮・支援を必要とするときは

障がい学生支援室では、障がい等により修学上の配慮を必要とする学生に、合理的配慮などの修学支援を行っています。

3

自然災害が起きたら冷静な行動を

災害発生からの行動を示した本学の『災害対応マニュアル』を参考に、身の安全を守り落ちついて行動しましょう。また、本学が導入する安否確認システムに、メールアドレスやLINEの登録をおきましょう。普段からの備えを行うことで被害を軽減することができます。本学では、全新生入生に「防災総合基礎教育」を実施しており、全学科目「防災リーダー養成論」でも災害時の実践力を身に付けることができます。

災害対応マニュアル▶▶



本学安否確認システム▶▶
(ログイン方法はmanaba掲載のマニュアルを参照してください)



自ら備え、「安全」「安心」な学生生活を！



4

甘い言葉に注意！気づけば加害者になることも

言葉巧みな勧誘で学生をねらう悪質商法やカルト宗教があります。被害者の多くは友人から勧誘を受けており、安易な勧誘行為は加害者になることも。アルバイトでは、高額バイトとして学生に犯罪の手伝いをさせるケースも増えています。内容を見極め、断る勇気を持ち、さらには自分自身が加害者にならないよう十分注意してください。トラブルに巻き込まれた場合は、大学または警察(110番)に相談してください。

5

SNSは常に誰かに読まれていることを意識して

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)は、誰でも気軽に発信することができる反面、よく考えることなく発信してしまいがちです。SNSは実際の友人以外にも、さまざまな人に読まれていることを常に意識し、不適切な発信、誤った情報の発信、個人情報の発信などに十分注意してください。プライバシーについては、友人であっても(SNS上にアップロードしなくても)、写真や画像等を相手や当事者の同意無く勝手に公開したり、安易に考えて友人へ送ることはトラブルや犯罪の原因になりますから、特に注意するようにしましょう。

国士館大学
ソーシャルメディア・ガイドライン▶▶



6

薬物・危険ドラッグは断固拒否

軽いノリと好奇心、「やせられる」「自信がつく」といった甘い言葉にのせられ、手を出してしまうケースがあります。人生が取り返しのつかないことになります。薬物の誘いは決して受けてはいけません。断固拒否してください。違法薬物を使用している情報を見たり聞いたりした場合は、すぐにクラブ指導者や教職員、両親、親しい友人などに声をかけて犯罪防止を心がけましょう。

違法薬物
追放への取り組み▶▶



7

飲酒・喫煙のルールを厳守！ たばこはあらゆる病気の引き金に

20歳未満の飲酒・喫煙は違法行為です。発覚した場合は処罰の対象となります。アルコールハラスメント(飲酒強要)やイッキ飲みは命の危険を伴います。また、指定場所以外の喫煙や歩きタバコ、飲酒をして自動車やバイク、自転車を運転することも厳禁です。健康管理室では禁煙相談も行っています。

8

火気の使用に注意

学内や学生寮、クラブ宿舎での火気使用は事前に届け出がない限り禁止されています。火の始末、部屋の整理整頓、ライター等の発火器具やモバイルバッテリーの管理等には十分注意しましょう。普段から避難経路や消火器、屋内消火栓などの場所を確認し、出火した場合はすぐさま通報する、消火器で消す、周囲に助けを求め等、冷静な対応を心がけましょう。

9

交通事故・トラブルはその場で110番

自転車は「軽車両」です。4月からは道路交通法が改正され、歩道を走行したり、一方通行を逆走するなどの違反者には罰金が科されます。危険運転を慎み、周囲(歩行者や自動車など)に配慮しましょう。交通ルールを遵守し、交通トラブル(被害・加害)に巻き込まれた場合は、その場ですぐに警察(110番)へ連絡しましょう。

楽しい学生生活の中で出てくる「わからないこと」や「困ったこと」。あらかじめ知っておくことで防ぐことができるものもあります。キャンパスライフを楽しむために、一人一人ができることを再確認しましょう。

10

気持ちが落ち込む時は「学生相談室」へ

「学生相談室」は、学生生活で出会う問題や悩み事について、一緒に考え、話し合い、相談できる場所です。専門のカウンセラーが相談に応じ、必要に応じて精神科医も対応することができます。電話による申し込み、ご家族からの相談にも応じています。秘密は厳守します。気軽に立ち寄ってみてください。

学生生活を思い切り楽しもう！

本学には100を超える課外活動クラブがあります。仲間とともにひとつのことに取り組み、頑張る体験は生涯の宝になります。学生が利用可能なフィットネスセンターや温水プール、図書館などの施設のほか、進路の助けになるキャリア形成支援センターや教職支援室、海外留学の相談ができる国際交流センターなど、学生サポートも最大限活用しましょう。



11

経済的な支援を受けたいとき

学内奨学金制度のほか、日本学生支援機構や地方公共団体、民間育英団体などが奨学金制度を設けています。家計急変などにより、奨学金が緊急に必要な場合の奨学金制度もありますので、学生・厚生課(奨学金窓口)に相談してください。国士館大学教育後援会でも相談に応じています。

1のご相談はコチラ

教務課(政経、理工、法、文、経営学部)
世田谷キャンパス5号館1階 03-5481-3159
体育学部事務課
多摩キャンパス18号館1階 042-339-7200
体育学部事務課(こどもスポーツ教育学科)
町田キャンパス14号館1階 042-736-2330
21世紀アジア学部事務課
町田キャンパス30号館1階 042-736-1050
大学院課
世田谷キャンパス8号館1階 03-5481-3140

2のご相談はコチラ

障がい学生支援室
世田谷キャンパス(34号館A棟2階)
03-5451-8210
町田キャンパス(12号館4階415号室)
042-736-8147
多摩キャンパス(21号館1階 学生相談室内)
042-339-7365

45689のご相談はコチラ

学生・厚生課
世田谷キャンパス(34号館1階)
03-5451-8114
町田キャンパス(13号館1階)
042-736-2316
多摩キャンパス(18号館2階)
042-339-7225

7のご相談はコチラ

健康管理室
世田谷キャンパス(34号館1階)
03-5451-8115
町田キャンパス(11号館1階)
042-736-2319
多摩キャンパス(21号館1階)
042-339-7206

10のご相談はコチラ

学生相談室
世田谷キャンパス(34号館1階)
03-5451-8116
町田キャンパス(11号館1階)
042-736-5498
多摩キャンパス(21号館1階)
042-339-7365

11のご相談はコチラ

学生・厚生課(奨学金窓口)
世田谷キャンパス(34号館1階)
03-5451-8113
国士館大学教育後援会
世田谷キャンパス(38号館1階)
03-3418-2692



国士館大学
@KokushikanUniv



国士館大学
@kokushikan_university



国士館大学
@KokushikanUniversity



国士館大学
YouTube

企業の人事担当者 在学生に直接説明

全国から多種多様な200団体



企業説明を熱心に聞く3年生。後方では1・2年生も見学した

1・2年生も見学

業界研究フェア盛況

本学キャリア形成支援センターは、業界や職種を知ること、1・2年生も見学した

本学キャリア形成支援センターは、主に学部3年生を対象とした「国士館大学業界研究フェア」を2月6日、新宿・京王プラザホテルで開催した。全国から200団体が出展した同フェアは、就職活動に臨む学生が企業の人事担当者から直接話を聞き、業界・職種選択の視野を広げ、口々に就職活動を進められるよう、毎年開催している。

当日は、一般企業のほか、警察・消防、本学がU・Iターン就職の支援協定を締結する自治体など、多様なブースが並んだ。学生は、複数のブースを回りながら積極的に業界研究を重ね、101団体が参加した。

2月9日から13日のうち4日間の日程で、世田谷キャンパスの34号館を会場に「就活!HOT SPACE」を開催し、企業セミナー(学内業界・企業セミナー)を開催し、企業など101団体が参加した。

就活

内定への道のり

社会人としての未来をつかみ取る就職活動。その挑戦には多くの期待と不安が伴う。自分と向き合い、志業を定め、学生生活での経験や学びから自らの価値を創造し、その先に「明るい未来」が広がる。4月から新社会人として、未来へ向かって歩み出した先輩3人の「内定への道のり」を聞いた。(令和8年2月取材)



法学部 平石 竜三さん

自治体職員

市役所内定を得た平石さんは「継続力」を武器に夢をつかみ取った。

平石さんが公務員を志したのは高校生の頃。漠然と一人の暮らしを支える仕事だ、と感じたことが始まりだ。本学入学後は、中学生から続いていた剣道と、バーレーケットでのアルバイトに奮闘する日々。多世代コミュニティ「ユニオン」を取る中で感謝される喜びを実感し、「市民全体を支えられる仕事がいい」と市役所志望を固めた。

就職活動のスタートにあたり、「困ったときはキャリア形成支援センターへ」と勧められ同センターを訪れ、エントリーシートの添削、自己PRや面接指導など多岐にわたる的確なアドバイスを受けることができた。アドバイスをもちに自己PRを「剣道で培った継続力」に据え、市主催イベントにも積極的に参加し、市役所職員が担う幅広い業務への理解を深めた。また、「人々を支える行政職には必ず生かせる」と思い、から防災士資格も取得した。

採用試験を受けるにあたり不安もあったというが、「いまの自分では夢は必ず見つけられる」と自己PRを送る。自己と向き合い続けた林さんだからその言葉だ。

入職後は、「日本中に商品を普及させる」と意気込む。その先には、「子どもたちの笑顔であふれる世界」という林さんの夢が、いまも明確だ。

文学部 林 歩花さん

玩具関連会社



「新たな自分を見つけてみたい」という思いで、就職活動のスタートにあたり、「困ったときはキャリア形成支援センターへ」と勧められ同センターを訪れ、エントリーシートの添削、自己PRや面接指導など多岐にわたる的確なアドバイスを受けることができた。アドバイスをもちに自己PRを「剣道で培った継続力」に据え、市主催イベントにも積極的に参加し、市役所職員が担う幅広い業務への理解を深めた。また、「人々を支える行政職には必ず生かせる」と思い、から防災士資格も取得した。

採用試験を受けるにあたり不安もあったというが、「いまの自分では夢は必ず見つけられる」と自己PRを送る。自己と向き合い続けた林さんだからその言葉だ。

入職後は、「日本中に商品を普及させる」と意気込む。その先には、「子どもたちの笑顔であふれる世界」という林さんの夢が、いまも明確だ。

21世紀アジア学部 小山 真弥さん

空港グランドスタッフ



「笑顔で支えたい」と面接で熱意伝えた小山さんは、3カ国の留学生と交流する中で、文化の違いを受け止めることが自身の心身に、TOPIC(韓国語能力試験)の最高級に合格するなど語学力も飛躍的に伸びた。帰国後は、胸に残ったのはあの日の空港で、海外から旅立つ方々の背中を押したいと、就職活動では高倍率の空港グランドスタッフへの挑戦を決めた。

選考で小山さんが重視したことは面接対策。作った想定問答は数えきれず、「自分を飲み物に例えたい」と、「ラフメントへの対応」など、自己PRにも工夫を凝らした。また、留学経験を力づける軸に置き、「多文化に触れたことで多くの方の気持ちを理解できる」と、職とマッチする自分の魅力に熱意を込めた。

入職後の現場は、「さらなる語学力強化と現場でのスキルアップ」。笑顔で支えられる、社会人になる決意は固い。

海外研修体験記



友達と食事を楽しむ皆さん(右から目)

国際交流センター主催の短期留学(海外研修)が2月から3月にかけて実施され、アメリカとオーストラリアでの約4週間のプログラムに参加した27名の学生が参加した。



寒稽古の皆勤表彰状を手に記念撮影する各クラブの代表者ら



寒稽古の皆勤表彰状を手に記念撮影する各クラブの代表者ら

寒稽古皆勤 53人表彰

本学は、国士館伝統行事の寒稽古(かんげいこ)に、皆勤(けいじん)で参加した学生を表彰し、今後のさらなる活躍を期することを述べ、皆勤の学生らにたたき。

令和7年度の寒稽古は1月6日から9日の4日間にわたり実施され、世田谷、町田、多摩の各キャンパスで活動する武道系を中心としたクラブの学生・教職員延べ3901人が参加した。

個人情報についてのお知らせ

国士館大学では、在学生リストをはじめ、多くの個人情報を保有しております。これらのデータは、個人情報保護法にもとづいた学内規則によって、適正に管理・運用させていただきます。

個人情報を取り扱う場合は、使用目的を明らかにし、その目的の範囲内でのみ、使用させていただきます。ご本人の承諾のない限り、お預かりした個人情報を約束手続の目的以外に使用することはありません。

個人情報の取り扱いについて、疑問がございましたら、お申し出ください。所定の手続きに従って、情報の開示、あるいは訂正、利用停止などをいたします。



尾崎署長(前列左端)と受賞した学生。右から長田さん、松永さん、岩山さん、後列右から、渡邊さん、杉浦さん、山中さん、鬼嶋さん

人命救助 学生4人に消防総監感謝状

通学途中 心肺停止女性をAEDで蘇生

人命救助および近隣の公園内で発生した火災の消火に貢献したとして、本学学生4人が表彰され、1月27日、世田谷キャンパスのメイプルセンターホールで世田谷消防署の尾崎純署長から一人一人に感謝状が手渡された。

渡邊翔太さん(法3年)、鬼嶋おんさん(法3年)、杉浦浩太さん(同1年)、山中将太さん(同1年)は、1月27日、世田谷消防署の尾崎純署長から一人一人に感謝状が手渡された。

初期消火の3人には消防署長感謝状

3人は、世田谷キャンパスに隣接する若林公園で枯草火災に遭遇。連日、消防署長から一人一人に感謝状が手渡された。

岩山航太さん(経営4年)、長田葉さん(同3年)、松永修平さん(同3年)は、近隣の公園内で発生した火災の消火に貢献したとして、世田谷消防署長から感謝状が贈られた。

英語で対話 大きな自信

ベトナムに留学した小山さんは、3カ国の留学生と交流する中で、文化の違いを受け止めることが自身の心身に、TOPIC(韓国語能力試験)の最高級に合格するなど語学力も飛躍的に伸びた。帰国後は、胸に残ったのはあの日の空港で、海外から旅立つ方々の背中を押したいと、就職活動では高倍率の空港グランドスタッフへの挑戦を決めた。

選考で小山さんが重視したことは面接対策。作った想定問答は数えきれず、「自分を飲み物に例えたい」と、「ラフメントへの対応」など、自己PRにも工夫を凝らした。また、留学経験を力づける軸に置き、「多文化に触れたことで多くの方の気持ちを理解できる」と、職とマッチする自分の魅力に熱意を込めた。

入職後の現場は、「さらなる語学力強化と現場でのスキルアップ」。笑顔で支えられる、社会人になる決意は固い。

相手を思い「まず挨拶」

あいつを交わす文化に、私も自然と笑顔で返す。東京の気温差は驚くほど大きい。店員さんが必死で頑張っているのを見て、私も頑張らなければならない。挨拶は、コミュニケーションの第一歩。笑顔で挨拶をすれば、相手も笑顔で返してくれる。道で目があったら、「やあ!元気づけよう」と挨拶をすれば、相手も笑顔で返してくれる。

進路に向けて学内サポートを活用しよう!

キャリア形成支援センター

世田谷キャンパス 8号館1階
町田キャンパス 12号館1階
多摩キャンパス 18号館2階

学生一人ひとりが能力や個性にあった進路を自ら選択できるよう、進路相談や各種プログラムを通じてキャリア形成や就職活動をサポートしています。

教職支援室

世田谷キャンパス 34号館2階
町田キャンパス 13号館1階
多摩キャンパス 18号館2階

教職支援アドバイザーを配置し、学生からのさまざまな相談に対応しています。定期的に教職課程受講者を対象とした面接練習会などを開催しています。

採用試験対策講座

(公務員(事務系)/警察官/消防官/教員)

公務員や教員をめざす人に、各種採用試験対策講座を用意しています。

資格講座

簿記、FP、TOEIC等、9種類の講座を開講しています。

大学主催インターンシップ

企業および公共団体のインターンシップに本学学生枠を設け、夏季休業期間中に参加します。参加者は、学内選考を経て決定し、学内で事前・事後教育も実施します。

就職講座

自己分析、業界・職種研究、応募書類、面接対策など、就職活動に必要なことを学びます。企業の採用担当者を招いた本音トークや内定者報告会などのイベントも用意しています。

面接体験セミナー

企業の採用担当者を講師に招き、面接とグループディスカッションの指導を2日間受けます。企業側の視点から指導を受けられることから、学生の満足度が高いセミナーです。

業界研究フェア

本学学生の採用に意欲的な企業および公共団体200団体ブースを構え、担当者から業界・企業について学ぶビッグイベントです。毎年多くの学生が参加します。

じゃぱり場

学部1~3年生を対象に少人数で開催します。他者と意見交換することで自分の価値観を再認識し、自己理解を深めます。

キャリアカウンセラーによる個別相談

進路や将来に関する相談に加え、就職活動の履歴書・エントリーシートの添削、面接指導などを受けられます。

U・Iターン就職支援

本学では、各自治体と就職支援に関する協定を締結し、学生のU・Iターン就職を支援しています。

就職活動支援ガイドブック

『Working Gear』(3年生向け)『Working Gear Jr.』(1年生向け)を配付して、キャリア形成と就職活動の支援をしています。

